

佐賀県回遊PR

嬉野市　編

温泉とお茶。
心ほどける、癒やしのまち。





嬉野温泉公衆浴場
「シーボルトの湯」

■概要

歴史と風情を感じられる公衆浴場です。大正ロマンを思わせる美しいゴシック風の建物は、思わず写真を撮りたくなるほど印象的で、嬉野の街並みの中でもひときわ存在感を放っています。館内は、大浴場や貸切湯、市民ギャラリーなど、市内外のお客様に、交流の場・憩いの場として親しまれています。（あそぼーさがHPより引用）

■住所

佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙818-2

■アクセス

長崎自動車道嬉野インターチェンジより約10分
嬉野温泉駅から車で約7分
嬉野バスセンター下車、徒歩7分

■HP

https://www.city.ureshino.lg.jp/kanko/siebold.html

写真提供：佐賀県文化観光連盟







うれしの茶交流館　チャオシル

■概要

日本におけるお茶のルーツやうれしの茶の歴史を知ることができるほか、お茶の栽培から仕上げまでと一椀のお茶に至るまでの行程を知ることができる施設です。歴史などを学ぶ以外にもおいしいお茶の淹れ方や温泉水を使った茶染め体験など、お茶に関する様々な体験ができます。

■住所

佐賀県嬉野市嬉野町大字岩屋川内乙2707-1

■アクセス

JR嬉野温泉駅から車で約10分
嬉野ICから車で約7分
嬉野バスセンターから徒歩約21分

■HP

https://chaoshiru.com/

写真提供：佐賀県文化観光連盟

名産品・特産品





■うれしの茶

日本茶の中では珍しい独特の丸みを帯びた形状から、玉緑茶（たまりょくちゃ）と呼ばれています。葉が丸く緑茶の艶が深く、香りや旨みが強いことが特徴。急須の中でゆっくりと開きながら抽出していくため、そそぐたびに味や香り、旨みの移り変わりを楽しめるお茶として人気です。





■吉田焼 （よしだやき）

吉田地区で受け継がれてきた吉田焼は、嬉野茶を特産とする地域の特性を生かした茶器を製造する窯元も多く、昭和の食卓の象徴のような水玉模様の急須や湯のみは、肥前吉田焼の代表的な商品のひとつとなっています。窯元によっては伝統的な青磁から現代的なデザイン、伝承や物語をあしらった意匠の物もあります。有田焼と同様400年以上の歴史を持ちながらも、素朴で温かみのある風合いと、どこか現代的なデザインが調和しているのが特徴です。





■嬉野温泉湯豆腐 （うれしのおんせんゆどうふ）

嬉野温泉の温泉水を使って調理した湯豆腐。温泉のアルカリ成分が豆腐のにがりに作用して、トロリなめらかな味わいをつくりあげました。肉や料理と一緒に鍋物でも、そのまま葱や鰹節を添えても美味しい。嬉野温泉の朝食としても人気です。

あそぼーさがHPより引用
写真提供：佐賀県文化観光連盟